

区民の皆様へ

三輪地区



第55号

# 住民自治協議会だより

令和4年3月1日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 伊倉 文明  
事務局 三輪公民館内 電話 225-9567 FAX 225-9647  
E-mail: miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp  
H P: https://www.miwajichikyo.com



総務(区長)部会 健康・福祉部会

## 第7回三輪地区住民福祉大会が行われました

総務(区長)部会(防災担当)

相ノ木西区長

和田 俊夫

令和3年度の住民福祉大会が11月25日(木)に行われました。今回は、2年前の台風19号災害の後、住民に寄り添いながら、悩みや困り事を聞いて解決のお手伝いをしている豊野地区の方2名に、体験談や復興に向けた取り組みについて講演をしていただきました。

春原圭太様は、災害の際には「地域の復興なくして事業所の復興はあり得ない」との掛け声により、被災した地域の人々が気軽に集える交流の場、必要な情報や物資が集まる場として12の福祉団体の協働で開設された「まちの縁側ぬくぬく亭」の運営リーダーとして活動されました。ぬくぬく亭は、サロンの運営だけでなく、住居の泥出しや清掃、家財道具の片付けなど様々なボランティア活動を行って来ました。「できる人ができる時にできることをする」がぬくぬく亭のモットーであると言われました。

清水厚子様は、「とよの福向チーム集楽元快」を立ち上げられました。災害後、豊野地区は人口減少により「限界集落」になる恐れもあったとか。それを防ぐために、住民が集まって楽しく元気で快適な生活をする持続可能な健康福祉の町づくりを目指して活動されています。災害直後には、「被災者生活救援物資無料提供」を行ったり、現在も復興野菜イベント等、声を掛けると集まってくれる多くのボランティアにより様々な活動をされています。

これまでもボランティア事業はあった、しかし携わっている方々は「やってあげている」という上から目線であったかもしれない、被災して今度はボランティアを受ける立場に変わった人もいる、他人事ではないという認識が芽生え、ボランティアが根付いた、とおっしゃる清水様の言葉が心に残りました。



## 教育・文化部会

### 子どもの人権を考える講演会

人権教育・男女共同参画推進委員会委員長  
大島 美智子

12月4日（土）に「子どもの人権について～子どもの成長、性の成長から人権を考える～」講演会を開催、「川中島の保健室」の白澤章子さんを講師にお迎えしました。白澤さんは、40年間養護教諭を務められ、退職後にご自宅で“誰でも気軽に訪ねられる保健室”を開設されています。はじめに、児童憲章についてお聞きし、「性」に対する意識や乳幼児期～思春期まで年代ごとの性の成長、性教育について、今まで保健室に寄せられた相談を交えてお話しいただきました。参加者からは「今まで性についてあまり触れてこなかったが、性教育の大切さを再認識した」「子どもを持つ親として興味深い内容で、今後の子育てに役立てたい」などの感想が聞かれました。性を学ぶことで自分を大切に、また他者を思いやる気持ちを育てていくことは、いじめや児童虐待、DVなどの諸問題にも繋がって行くと感じました。児童憲章は母子手帳の裏表紙に掲載されています。ぜひ一度ご覧ください。

コロナ禍で感染対策を講じての開催となりましたが、参加者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。



### ボッチャ体験会を開催

教育・文化部会長 金井 信幸

地域スポーツの振興を目的とした三輪地区のスポーツ大会も、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止や内容変更を余儀なくされていますが、今年度も昨年同様、予定していたスマイルボウリング大会に代わり、ボッチャ体験会を11月14日（日）に三輪小学校体育館にて開催しました。ボッチャは東京パラリンピックの正式種目として採用され、全国的にも広く普及しつつあります。

事前の参加希望者は数名の応募だったので開催が危ぶまれましたが、当日は22名の方が集まり、ニュースポーツと言われるこの競技を参加者全員が楽しみました。会場では2つのコートに3チームずつに分かれ、役員がルールを説明しながら体験形式で対戦しました。開始当初は試行錯誤しながら取り組んでいる人がほとんどでしたが、競技を進めるにつれてルールの理解が深まり、会場が笑顔と歓声につつまれていきました。

ボッチャは老若男女問わず気軽に楽しめるスポーツですので、今後多くの方に体験していただきたいと思います。また、来年度も開催するとしたならば、ルールを明確にして、本格的な対戦方式で行いたいと考えています。



## キッズふれあい体験活動

教育・文化部長 金井 信幸

### 「素敵なクリスマスリースづくり」

三輪公民館と共催の今年度第4弾のキッズふれあい体験活動は、12月4日（土）、三輪公民館3階ホールにて開催され、クリスマスリース作りが行われました。講師に長野市リサイクルプラザの望月さんをお招きしました。作業に入る前に、ごみの分別の仕方についてクイズ形式で学びましたが、子どもたちもさることながら、役員を含む保護者の皆さんも改めてごみの仕分け方法を再確認する機会となりました。

引き続き、資源ごみの有効活用という観点から、リサイクルされた材料でのクリスマスリース作りにとりかかりました。学校の授業ではあまり実施されないクリスマスリース作りだけあって、子どもたちは試行錯誤しながらも、楽しく製作に取り組んでいました。各自思い思いの作品ができあがり、達成感に浸りながら自分の作品を手に取り、記念写真におさまっていた姿が印象的でした。



なお、今回はテレビ信州の取材が入り、後日長野市政番組で放映されました。メディアの取材を受けながらのクリスマスリース作りだったため、子どもたちにとっては、ある種の緊張感を持つての体験でしたが、この経験が今後何らかの形で活かされることでしょう。

## 安全・安心部会

### 特殊詐欺防止研修会

安全・安心部会長 小林 雄一



西澤周作様

安全・安心部会はコロナで延期になっていた令和3年度の防犯研修会を、11月17日(水)19時から三輪公民館3階ホールにて開催しました。講師に長野中央警察署生活安全第一課防犯指導係係長の西澤周作様と長水防犯協会連合会事務局の三澤美幸様をお招きして、特殊詐欺の防止と不審者対策について、講演および啓蒙ビデオの映写をお願いしました。三輪地区各区の防犯指導員50人が参加しました。

西澤係長は、犯罪者が警察官や金融機関の職員をかたり、キャッシュカードをだまし取る「預貯金詐欺」の手口などを説明、詐欺の防止のポイントを指導しました。また、不審者に遭遇した時の子どもの対応方法などを紹介するビデオを視聴しました。参加者からは、学校と警察の情報共有などの質問が出て、有意義な研修会になりました。

安全・安心部会としましても地域を挙げて防犯意識を高め、犯罪者が入りにくい地域を目指して引き続き活動してまいります。



## 健康・福祉部会

### 子どもと親の育ち合いサロン

子どもと親の育ち合いサロン代表 岡宮 純子

サロンのねらいのひとつ「世代間交流を通し、子育て仲間が育ち合い絆を深める」を念頭に、発足15年が経ちました。

今年度は、予約制を導入しスタートです。コロナ感染状況が不安定な中、4回実施できました。

8月 ……夏休み中なので兄弟と一緒に来場し、短冊に願いを書きました。

11月 ……飯島先生のヴァイオリンに心を癒されました。

12月 ……山本さんのピアノ曲でリズムカルに身体を動かし、サントさんのサプライズ登場に大歓声でした。

1月 ……「ぴょん」の絵本で親子がふれ合い、スタッフも一緒に笑顔の輪が広がり、まゆ玉(紙風船で代替)の枝を手に帰路につきました。

最後に、このような場があることで、コロナ禍の中でも絆を確かめ合えることを実感しました。今後も、コロナとの共存が予想される中、お互いの知恵を出し合い、「サロン」の実施に努めていきたいと願っています。  
よろしくお願いいたします。



### 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自治協事業の実施について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、現在自治協主催の事業についても多くが中止や延期となり、皆様方には大変なご迷惑をおかけしています。

収束の見通しがなかなかはっきりしない中、自治協では昨年定めた『コロナ禍における自治協事業実施に当たっての基本方針』により対応していくこととしています。

具体的には、市の感染警戒レベルを判断の基本とし、レベルが「5」以上の期間は事業を中止または延期、「4」の期間は事業の実施内容等により個別判断、「3」以下の期間はできるだけ事業を実施としています。

そのうえで、いわゆる「3密」(①密閉 ②密集 ③密接)を避ける形で実施できると判断される事業については、十分な感染防止対策を徹底的に講じたうえで実施していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、詳細については、自治協事務局(電話:225-9567)にお問い合わせください。



マスクをしよう



手を洗おう



消毒しよう



換気をしよう